



日に日に秋が深まり、戸外遊びが気持ちよく感じられます。葉っぱの色の変化に気が付いたり、散歩先ではどんぐりを探したりと、子どもたちも秋を身近に感じているようです。気温もぐんと冷えてきていますが、風邪や感染症に気を付けながら11月も元気に過ごしていきたいと思えます。

今までありがとう！

7月からぞう組で飼育していたカブトムシとクワガタ。つい先日、最後まで残っていたカブトムシが死んでしまいました。はじめは触ることが出来なかった子も、背中や角を触ったり昆虫ゼリーを交換したり、霧吹きで水をかけたりとみんなでお世話してきました。「死んでる」「動かない」とすぐに子どもたちが気付きました。死んでしまったカブトムシは、畑の隅にみんなで埋めることに。「今までありがとう」「元気でね」とそれぞれ別れを告げてから深く土を掘り、そっと土の中へ入れた後は手を合わせました。

また、以前生きていたカブトムシが生んだたくさんの卵も土を掘り返し観察したところ、うまく卵が育たなかったようでカブトムシと一緒に土に埋めました。進級してから、小さなアリやダンゴムシを死なせてしまうことも何度かありましたが、今回の飼育を通して生き物の生態や命についてじっくり関わることが出来たからか、身近な生き物をつぶしそうとする姿も見られなくなりました。今回の飼育や経験を通して、生き物や植物に対して優しく接することができるようになってほしいです。

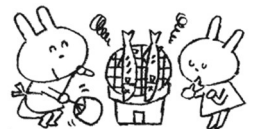
～歌うのだいすき！～

おたのしみ会に向けて「おばけなんてないさ」「にんげんっていいな」の練習を始めました。想像以上に歌詞を覚えるスピードが速く、保育者のピアノの練習が追いつかない程でした。一生懸命歌っているからか、歌い出しが早かったり遅かったりとまだバラバラな部分はたくさんありますが、互いに顔を見合わせて楽しそうに歌う姿が可愛らしいぞう組です。歌っている時に動きが激しくなったり、おしゃべりをしたりしてしまうこともありますが、まずはみんなで歌う楽しさをたくさん味わってから、後々姿勢など周りの人に「見られる」ことを意識して取り組んでいきたいです。



～給食だいすき！さんまの食育に挑戦～

ぞう組の子どもたちは保育園の給食がとっても大好きで、ほとんど毎日残食することなく食べています。苦手な物は減らして、一口食べてみようとする子もいます。白米の量も今までより増やして配膳していますが、ペロリと食べて更におかわりをしもりもり食べています。午前中は氷鬼やポコペン、縄跳びなど汗をかくまで体を動かして遊んでいるからかもしれませんが、たくさん遊んでたくさん食べている姿を見るとこちらまで嬉しくなりますね。10月はさんまの食育もありました。まるまる一尾、自分たちで骨や内臓を取りました。長い背骨をみると「ながっ」とビックリ。内臓の色に、眉間が寄る子や「こわい」と言う子もいましたが、無事に全員完食しました！「おいしかった」と笑顔のぞう組です。



おしらせ・おねがい

- 11月4日(金)秋の園外保育があります。(水筒持参)詳細は後日連絡します。
- 9:30には朝の集まりが始まります。散歩にも出かけますので9:20分までの登園をお願いします。